



里のギャラリー 178

分析終了日 2011年11月15日

分析成績書
食品の放射能測定

農民運動全国連合会（農民連）
食品分析センター
八田純人

結果

分析報告書に記載した方法で、試料について、放射性ヨウ素(I-131)および放射性セシウム(Cs-137, Cs-134)の分析をおこなった結果は以下の通りである。単位は、いずれもBq/kg。

分析依頼者	鈴木孝夫		飲料受領日	2011年11月15日
			検査実施日	2011年11月16日
分析依頼試料	玄米(すずき産地)	無農薬無化学肥料	北茨城市磯原町	
測定装置	Inspector1000	測定容器	V-11容器	試料重量 0.810kg
測定項目	測定結果(Bq/kg)		基準値(Bq/kg) ^{*2&3}	検出限界(Bq/kg) ^{*1}
放射性ヨウ素 I-131	不検出		本法に設定なし	5
放射性セシウム Cs-137	17 Bq/kg	29 Bq/kg	500	5
放射性セシウム Cs-134	12 Bq/kg			

*1 検出限界は、本法で検出できる限界量を示す。この数値より小さいレベルでの汚染などがある場合、検出す

食品の放射能測定結果

分析報告書に記載した方法で、試料について、放射性ヨウ素(I-131)および放射性セシウム(Cs-137, Cs-134)の分析をおこなった結果は以下の通りである。単位は、いずれもBq/kg。

分析依頼者	鈴木孝夫		飲料受領日	2011年11月15日
			検査実施日	2011年11月16日
分析依頼試料	玄米 2011年産	自家播こしヒカリ(すずき産地)	北茨城市中郷町	
測定装置	Inspector1000	測定容器	V-11容器	試料重量 0.810kg
測定項目	測定結果(Bq/kg)		基準値(Bq/kg) ^{*2&3}	検出限界(Bq/kg) ^{*1}
放射性ヨウ素 I-131	不検出		本法に設定なし	5
放射性セシウム Cs-137	6 Bq/kg	12 Bq/kg	500	5
放射性セシウム Cs-134	6 Bq/kg			

*1 検出限界は、本法で検出できる限界量を示す。この数値より小さいレベルでの汚染などがある場合、検出す

通常は20ペクレイまでの分析のところ、あえて時間をかけて5ペクレイまでの精密な検査をしてもらいました。
ひきつづき、白米での検査もあわせています。



↑ 雑草に完全に負けてしまった田んぼ。収穫はほぼ皆無。

↓ 翌年の同じ田んぼ。成苗ポット式の田植え機を導入し、アイガモ利用も成功した。



いよいよ今年、スズキイと、
全部の田を無農薬で
何年前だったか(前号)も、夢が形になったと大仰にチラシを紹介しました。少量とはいえ完全無農薬の米を販売できるようになった。と。
化学肥料を使わず、殺菌剤を使わず、殺虫剤を使わず、でも最後まで使わざるを得ない農薬が除草剤でした。が、それも徐々に減らしてきて、昨年は稲を付けした二回の田んぼのうち二回が完全無農薬でした。
成苗ポット植えへの切り替えとか、深水管理の徹底とか、アイガモの利用法の確立とか、どれも教えてくれないながら、技術面での試行錯誤を重ねてきました。もちろん失敗も多々。ただし、その経過が十分に楽しんでいただけます。
今、うちで直売している米の大部分が無農薬栽培です。その米粒に貼り付けている手作りのラベルが下記。「恋米」というブランド名の深い由来も記してあります。
そして、百姓18年目にして今年、いよいよ田んぼ全部を完全無農薬でいくつもりです。まだまだ収穫は周囲の平均に及ばないけど、「豊年り賃」が単なるお題目であった日は日本農業は生き残れませぬよ。

だれか損害を算定して!

もしくは
どんな言葉で励ましてくれますか

上に貼ったのは、10年ほど前に友人たちに送った紙面です。全面積で完全無農薬に踏み切ったことを高らかに宣言したのです。照れつつ言うなら、生きがいやら誇りやらをかけた粋がりでした。

ところが、あの3.11の原発事故。このほど、右のとおり2ヶ所の米の放射能分析の速報値が届きました。暫定基準とやらを下回ってはいます。しかし...

これまでだって、農薬が残留するとかしないとかではなく、また苦労や収量減は受け入れて、とにかく自分としては一切の農薬を使わないできたのです。その田んぼと米が、こんな目にあわされてしまった。言葉がありません。

どんな損害賠償を東電に求めたらいいのか、どなたか教えてください。また、これからも原発を推進すべきだという人がいるなら、私はどんな言葉で励ましてもらえますか?